

スジキビ

Parakaliella ruida (Pilsbry)
異鰓目・ベッコウマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

日本固有種。県内では、評価するだけの確認情報が少ないが、今後の動向に注意を要する希産種である。

分 布

本種は秋田県、関東以西の本州に分布する。県内では自然林や里山の雑木林のやや乾燥した腐葉土の堆積した落葉中に分布する。希産。

種の特徴

殻高 2 mm、殻径 3.5 mm、螺層 3.1/2 層の殻はヒメカサキビに酷似した微小貝。殻は薄質でもろいが、体層がよく膨らみ、周縁の鋭い竜骨状の角がある。殻表面には規則的な成長脈(スジ)が密に現れる。軟体部は黒色。

生息を脅かす要因

森林開発や道路改修等による自然林、里山の雑木林の適正管理や保護が必要である。

参考文献 黒田(1933)、和歌山県(2001)、福井県自然環境保全調査研究会編(1985)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○					○		○	○

カサネシタライ

Sitalina insignis (Pilsbry&Hirase)
異鰓目・ベッコウマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

確認されている生息地は局地的であり、また個体群サイズも小さく、個体数は減少している。

分 布

関東～中国地方の本州、四国、九州に分布する。県内では奥越山地等で確認されているのみである。

種の特徴

殻高 1 mm、殻径 2 mm、4 層の微小貝で、殻長と殻径がほぼ等しい円錐形をしている。落葉樹林内に生息する。

生息を脅かす要因

森林開発による生息環境の改変が主な要因となる。生息域の環境条件等も詳細は不明である。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編(1998)、環境省編(2014b)、福井県編(2002)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

オオヒラベッコウ

Bekkochlamys dulcis (Pilsbry)
異鰓目・ベッコウマイマイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

大型のベッコウマイマイでありながら、生息確認数が少ない。生息密度も低い。生息地が限定され、生息確認地の縮小と密度が減少している。

分 布

本種は福井から愛媛周辺までの本州に生息。県内では自然度の高い針葉樹・落葉広葉樹混交林にみられた。

種の特徴

殻高 7 mm、殻径 15 mm内外、螺層 5 層の殻は円盤状の薄質半透明、黄褐色を呈し体層の膨らみ、周縁は丸い。殻口縁は薄く、臍孔は狭く開く。軟体部は灰白色で背部に黒色の雲状模様があり、殻に納まらない。

生息を脅かす要因

本種の湿潤な日陰環境に生息する特殊性があり、森林開発や道路改修等による生息林床の乾燥と明るさが生存の脅威となる。イノシシやシカの下層植生の食害も影響している。

参考文献 黒田(1933)、和歌山県(2001)、福井県自然環境保全調査研究会編(1985)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○	○								○	○

陸産貝類